

評議員会だより

6月8日3階会議室において評議員会が開催された。

森理事長から、理事長に就いて1年たった。従前会員から陸自OB会員への移行を円滑に行い、偕行社を将来に希望のある組織にしていくのが私の任務と思う、との言葉があった。

事後、西尾充之(陸士61) 議長の進行で議事が進められた。

報告事項として、「平成30年度公益財団法人偕行社事業報告」について、廣瀬総務委員長から、29年度の成果を拡充し、会務運営基盤の維持に留意しつつ各事業をそれぞれ実施したことが報告された。今野評議員から、会員が減少し談話室の利用者も減っているが、これらを抜本的に改革してほしいとの意見が出された。事務局から更に努力したいとの回答があった。

引き続き議案の審議が行われた。

第1号議案・平成30年度公益財団法人偕行社決算報告書(案)について林財務委員長から貸借対照表、財産目録等の資料を用いて説明があった。また、内閣府から示された規定に基づいて財務処理されていることが説明された。続いて阿部監事から、監査について当事業年度の事業と財

政が適正に吻合されており、正味財産合計12億3928万7892円が実在していることが報告され、第1号議案は承認された。

第2号議案・理事の選任及び第3号議案・副会長新設について、奥村専務理事から説明があった。浦田徹氏(陸士60)、慰霊・援護委員長若木利博氏(陸自66)、越智通隆氏(空自67)が退任、鈴木芳雄氏(陸士60)、山崎美千代氏(陸自74)、小山田隆氏(陸自75)が推薦されそれぞれ選任された。これに伴い、吉橋誠理事(陸自65)が厚生委員長から慰霊・援護委員長に異動、小山田理事が厚生委員長に就くことも承認された。また会長が多忙な場合、代理ができるよう副会長の職を設けることとし、定款を変更することについても承認された。

第4号議案・評議員会議長の選定について、丸山評議員会副議長から提出され、来年度も西尾充之氏が評議員会議長に再任された。

林財務委員長から連絡事項として、偕行社の財務状況と厳しい将来見積もりの1例について提示された。

浦田氏から危機感だけでなくA・B会員の問題、資産運用などの対応策を真剣に考えてほしいとのコメントがあった。